

## 人生の岐路に立つ君へ ～Rovering to Success

### 三指

18歳を迎え、君はもはや日本の新制度でいう「成人」となった。それぞれが就職や進学“人生の岐路”に立っていることと思う。地元で故郷のために頑張る人や、地元を離れてさらに飛躍のために勉強に励む人もいるだろう。期待と不安の中で迷いもあるだろうが、どうかスカウティングで培った自分自身の力を信じ、前を向いて頑張ってもらいたい。

スカウトのちかきとおきては、これからも君たちの人生の指針となるものだ。我々は共に仲間であって、より良き社会人となるためにスカウティングに励んできた。楽しいことばかりでなく、苦しいことや辛いこともあったと思う。いろんな思い出を胸にさらなる高みを目指してほしい。

スカウト運動は日本中、世界中に広がっている。君たちには、ローバースカウトの世界が待っている。ローバースカウトは、18歳以上の青年のためのプログラムだ。人生という長い航海をどう生きるのか学ぶ貴重な機会となるだろう。地域で様々な人と協働し指導者になるのもいいだろう。進学先の学校や地域で新しい冒険と社会貢献に取り組むのもいいだろう。ローバースカウトには海外に向けて日本連盟を代表する多くの海外派遣団だって用意されている。君たちの先輩になる宇宙飛行士の野口聡一さんは、あるインタビューでこの運動で社会人として生きていくためには「規律と責任が必要だと心に刻んだ」と言っている。是非、この言葉の意味を噛みしめて欲しい。

君たちが新しいステージでさらに活躍できるよう公益財団法人ボーイスカウト日本連盟はそのサポートをしていきたい。特に、親元を離れて進学や就職をするスカウトは、新しい生活への期待と不安でいっぱいのことだと思う。新しい場所でもスカウティングに関わって欲しいことはもちろん、たった一人で見知らぬ土地で生活を始めるにあたって、同じ制服を着ている仲間と知り合うことができれば、不安は拭い去ることもできるし、そこの生活はより豊かなものになると思う。

引き続き地元で生活をするスカウトも、地元を離れるスカウトも、新しいステージでもスカウティングにしっかりと向き合ってもらいたい。君たちが、幸福な人生を歩むことができるよう祈っている。

弥栄



令和3年3月

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

総長

奥島 孝康